

子どものSOSを 支援につなげる

～ 私たちに何ができるのか～



活動紹介

虐待等を受けた子どもへの支援は、一つの機関のみで担えるものではありません。神奈川子ども支援センターつなぐは、性暴力を含む虐待、いじめ等を受けた子どもたちに対して、できるだけ多くの機関が連携することにより、子どもたちの権利が擁護され、被害からの回復につながろう、活動を実施しています。社会全体が一体となって子どもたちを守っていくために、広く市民の皆様へ、子どもたちに必要な配慮や、各機関での取り組み、多機関連携の重要性を知っていただきたく市民公開講座を開催します。

2019年 5月11日(土)

場所 関内ホール：小ホール

神奈川県横浜市中区住吉町4丁目42-1

参加費：無料 定員：200人

市民公開講座（どなたでもご参加いただけます）



問合せ先・申込先： info@tsunagg.com fax：045-319-4487
ペイアヴェニュー法律事務所内

基調講演



講師 仲 真紀子 立命館大学総合心理学部 教授

演題

子どもからどう話を聞か—司法面接の取り組み—
つなぐの重要な活動のひとつは「司法面接」です。司法面接は、被害の疑いのある子どもから正確な情報をできるだけ負担なく聴取する面接法。その効果を最大限に上げるには、地域の力、市民の力が欠かせません。この基本につき紹介します。

9:30 開場、受付
9:50 主催者あいさつ
9:55 基調講演
10:15 シンポジウム
11:30 閉会挨拶

プログラム

シンポジウム

テーマ 「行政、司法、医療など子どもを取り巻くすべてがつながるために」

パネリスト

仲 真紀子
中村 葉子
田村 正博
田崎 みどり
田上 幸治

コーディネーター

弁護士
飛田 桂



中村 葉子
横浜地方検察庁 総務部長



田村 正博
京都産業大学教授
元警察大学校長



田崎 みどり
横浜市中央児童相談所医師



田上 幸治
神奈川県立子ども医療センター
患者家族支援部長

主催
神奈川子ども支援センターつなぐ
設立準備委員会

協賛：ロイヤルハウジング株式会社

後援：神奈川県、横浜市、神奈川県警察本部
神奈川県立病院機構 神奈川県立子ども医療センター
神奈川県弁護士会、神奈川県医師会
横浜市社会福祉協議会、横浜市芸術文化振興財団